



ほけんだより 8月号



SKETCH
HOIKUEN

発行日 令和5年8月1日
スケッチ保育園 吉田

本格的な夏です。お子さまは、たくさん汗をかくと体力を消耗します。食欲も落ちやすい季節ですが、たくさん食べてしっかりと休息をとり、体調の変化に気をつけながら元気に夏を楽しみましょう。

車の中の暑さにも気をつけて

① 日差しを防ぐ工夫を

エアコンをかけていても、直射日光が当たると暑いもの。子どもが座るチャイルドシートのそばに日よけを設置するなど、日差し対策をしておくと安心です。



体温調節機能が十分発達していない代謝が活発なお子さまたちは熱中症になりやすいので、お家でもエアコンをつけたままでお子さまだけおくのは絶対にダメです。

② 決して子どもだけ車中に残さない

炎天下の車内は、あっという間に室温が上がります。エアコンをつけていても、エンジンがオーバーヒートして停止したり、子どもがスイッチをいたずらしたりする危険があります。短時間でも、絶対に子どもだけを車内に残してはいけません。

本格的な夏に入り一度体調を崩すと、大人も子供も回復するのに時間がかかるようです。無理せず療養しましょう。また当園は、病児・病後児保育は行っておりません。お子さまの体調面で不安があり、お仕事の都合がある場合は、市内の病児保育・病後児保育施設の利用をご検討ください。

蚊に刺されると、 すごくはれるのはなぜ？

蚊は、血液を吸うときに自分の口から唾液の成分を私たちの体に注入します。この成分に、免疫が過剰に反応してアレルギーを起こし、はれやかゆみを起こします。

ただ、蚊に刺されたことのない赤ちゃんや小さな子どもでは、体の中でアレルギーが起こるのに時間がかかり、反応も強くなります。そのため、少し時間がたってから、すごくはれてびっくりすることがあります。

1~2日後に
はれてくる

刺された翌日くらいから、赤くはれたり、水ぶくれになったりし、数日続きます。



ひどいときは病院へ

炎症を抑えるステロイドの塗り薬が必要な場合がありますし、水ぶくれからばい菌が入る危険があります。ひどいときは早めに小児科や皮膚科で相談しましょう。